

厚生労働省が推奨する **個別のリスク把握に基づく熱中症対策** に対応しており、  
2025年6月から義務化される新基準にも適応可能。

熱中症リスク判定AIカメラ

カオ  カラ

NETIS登録番号 KT-240046-A

### カオカラの導入事例

工場・製造現場の  
入退場ゲート



倉庫・物流センター  
の休憩所



建築・土木現場



イベントや  
短期工事現場



仮設トイレ・  
更衣室の入口



高温環境での作業前後に体調をチェックできる



現場作業前の健康チェックに活用できる



短期レンタルもあるので夏季限定の現場でも導入しやすい



顔認識で瞬時に判定、非接触で使用できるため、衛生面にも配慮しながら運用可能

## 熱中症管理を変える3つの特徴

### 高精度の顔解析AI

外部環境×生体データで個人ごとに高精度判定をAIカメラが実行



### 簡単設置×運営

タブレット起動し設置するだけでOK。  
判定撮影は最大3秒。



### 一元管理

取得情報は一元集約。  
いつでもどこでも管理画面でチェック。



カオカラは、“顔から体調”を読み取る、熱中症リスク自動判定カメラです。モニターの前に3秒立つだけで、AIが作業員の体調とその日の暑さ指数をもとに熱中症リスクを4段階で自動判定。難しい操作は一切不要で、結果は色とテキストで直感的に表示されます。設置も簡単、クラウド連携でデータを一元管理でき、現場の出入口に置くだけで誰でもすぐに使えます。

NETIS登録番号:KT-240046-A技術提案時の加点対象 にもなっており、公共工事や建設現場での導入が進んでいます。

最短5日の短期レンタルから長期導入まで対応可能。まずはお気軽にご相談ください!!

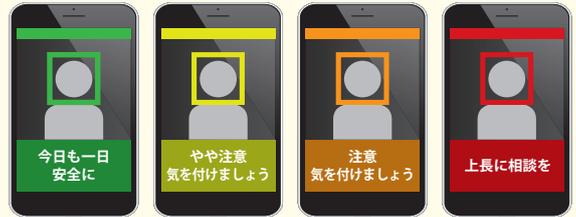
# 判定システム

1 タブレットに顔をかざして判定ボタンをタップ



判定撮影は最大3秒

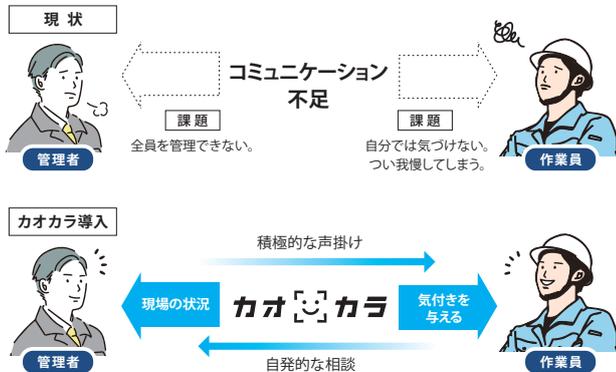
2 コミュニケーションを促す行動を4段階でお知らせ



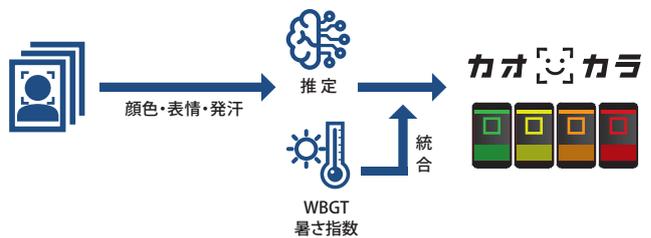
## 開発概要

### 狙い

夏場の労働・安全管理を変えたい  
地球温暖化が進む中、暑熱環境における作業員の労働管理には深刻な課題がある。



### AIの仕組み



- 1 専用に学習されたAIによる顔の変化(顔色、表情、発汗)の推定(精度約8割)
  - 2 端末設置された現場の外環境の暑さ指数(WBGT)を情報取得
- 1, 2 を統合し、コミュニケーションを促す行動を4段階でお知らせ

(ご注意) 本機器は熱中症そのものの診断、治療を目的としたものではなく、医療機器ではありません。

現場に双方向のコミュニケーションを生み、積極的な水分・塩分の補給・休憩に活用

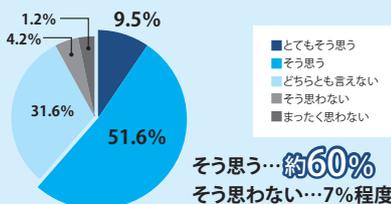
## 実証試験(2023年実施)で有用性を検証

企業名 (株)竹中工務店様・三和建設(株)様・太啓建設(株)様  
目的 顔データ収集と現場活用意義の調査  
現場数 4か所(東京/神奈川/愛知の規模異なる工事現場)  
実施期間 2023年6月~10月の中で現場ごと設定

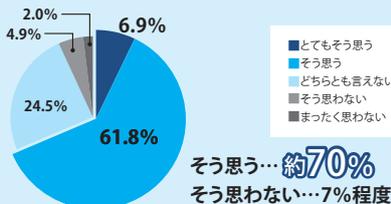
使用台数 10台(全現場合計)  
データ数 150名以上、3,000回以上の撮影



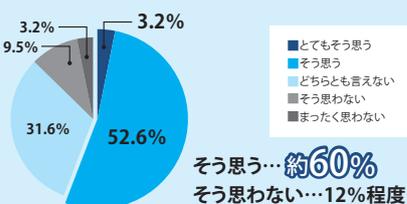
Q 「カオカラ」を使用することは簡易であったか?



Q 「カオカラ」があることで職長へ体調申告(コミュニケーション)がしやすくなったか?



Q 「カオカラ」があることで、自身の健康管理意識が向上したと感じるか?



簡便かつ本人に気付きを与え、現場全体の安全意識・行動が変わった

NETIS登録番号:KT-240046-A技術提案時の加算対象にもなっており、公共工事や建設現場での導入が進んでいます。

最短5日の短期レンタルから長期導入まで対応可能。まずはお気軽にご相談ください!!